

五所川原市  
学校教育系施設整備計画

2020年3月策定

2025年3月改訂

五所川原市

教育総務課 学校給食センター 高等看護学院

<目次>

1	計画の目的	1
2	本計画の位置付け	1
3	計画期間	1
4	対象施設	2
5	学校教育系施設の現状	3
6	これまでの整備状況	4
7	今後の整備方針	5
8	フォローアップの実施	1 1
	個別票	1 2

## 1 計画の目的

近年、本市を含む多くの地方公共団体においては、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。また、厳しい財政状況が続く中、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されています。このことから、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

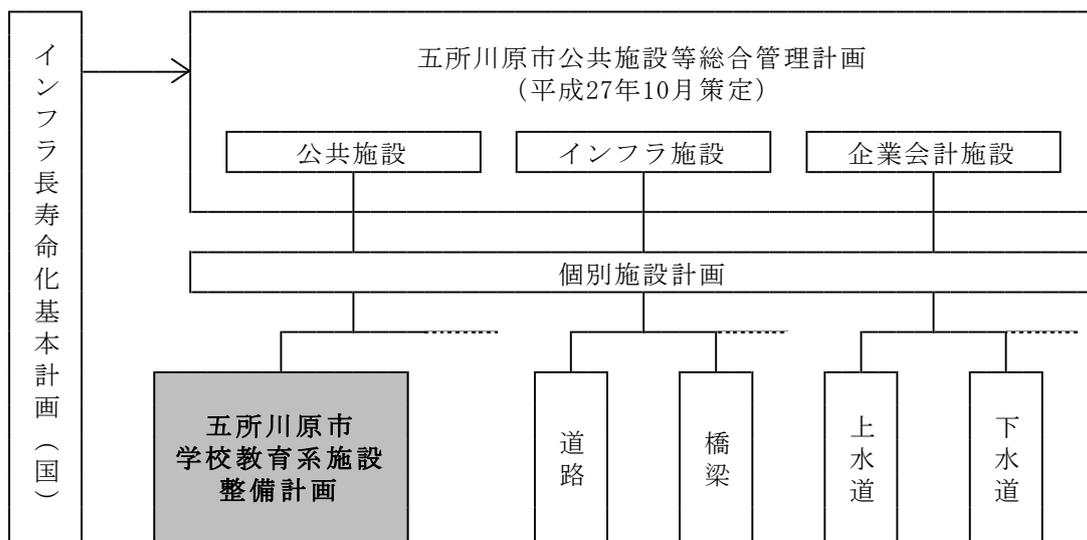
そのような中、国は2013年（平成25年）11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方公共団体においても、このような国の動きと歩調を合わせ、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画の策定に取り組むよう要請されたところです。

これらを踏まえ、本市では2015年（平成27年）10月に「五所川原市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」といいます。）を策定し、基本的な方針を示しました。

今回策定しました「五所川原市学校教育系施設整備計画」（以下「本計画」といいます。）は、総合管理計画で示した基本的な方針を具現化するため、個別施設ごとに今後の方向性やスケジュール、方向性に伴う事業費などについて取りまとめたものであり、将来に向けて、保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の適正化や計画的な保全による施設の長寿命化を図る取組の指針とするものです。

## 2 本計画の位置付け

本計画は、総合管理計画に基づく実施計画である個別施設計画として位置付けます。



## 3 計画期間

総合管理計画の計画期間同様 2044 年度（令和 26 年度）までとし、5 年ごとに見直しを行っていきます。

なお、本市を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行っていきます。

個別施設計画	第Ⅰ期 策定～2024 年度	第Ⅱ期 2025～2029 年度	第Ⅲ期 2030～2034 年度	第Ⅳ期 2035～2039 年度	第Ⅴ期 2040～2044 年度
公共施設等総合管理計画	策定～2044 年度（30 年間）				

#### 4 対象施設

本計画での対象施設は以下のとおりです。

No	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	老朽化率 (%)	備考
1	五所川原小学校校舎	新宮字岡田	6,085.65	1988	89.4	
	五所川原小学校体育館		1,537.50	1990	117.6	
	五所川原小学校プール附属室		76.00	1990	181.8	
	五所川原小学校物置小屋		35.00	1996	100.0	
2	南小学校校舎	蓮沼	4,757.60	1990	85.1	
	南小学校体育館		1,597.26	1992	111.8	
	南小学校プール附属室		64.00	1992	172.7	
3	栄小学校校舎	姥菴字船橋	6,354.47	1981	104.3	
	栄小学校体育館		1,676.78	1986	129.4	
	栄小学校プール附属室		48.00	1980	131.6	
	栄小学校物置小屋		62.00	1989	273.3	
4	松島小学校校舎	米田字八ツ橋	2,643.17	1996	72.3	
	松島小学校体育館		1,420.76	1997	97.1	
	松島小学校プール附属室		48.00	1986	200.0	
5	中央小学校校舎	松島町二丁目	5,543.21	2013	36.2	
	中央小学校体育館		1,393.50	2013	36.2	
6	三輪小学校校舎	七ツ館字虫流	3,887.13	2001	61.7	
	三輪小学校体育館		1,546.35	2002	59.6	
	三輪小学校地域学校連携施設		399.57	2001	107.4	
	三輪小学校食堂		288.44	2001	116.0	
7	三好小学校校舎	鶴ヶ岡字唐橋	2,337.33	1992	172.7	
	三好小学校体育館		1,337.62	1993	78.7	
	三好小学校プール附属室・機械室		60.00	1982	218.2	
8	東峰小学校校舎	神山字山越	2,548.85	1993	78.7	
	東峰小学校体育館		1,381.32	1994	105.9	
	東峰小学校プール附属室		63.00	1995	159.1	
	東峰小学校物置小屋		13.00	1996	100.0	
9	いずみ小学校校舎	飯詰字石田	2,346.19	1994	76.6	
	いずみ小学校体育館		1,377.07	1995	74.5	
	いずみ小学校食堂		238.78	1995	74.5	
10	金木小学校校舎	金木町芦野	5,398.29	1979	108.5	
	金木小学校体育館		1,170.45	1980	106.4	
	金木小学校第二体育館		359.25	1980	106.4	
	金木小学校給食室		191.50	1980	122.0	
	金木小学校倉庫		76.00	1980	333.3	
11	市浦小学校校舎	相内岩井	1,903.41	1990	85.1	
	市浦小学校体育館		898.43	1990	148.1	
	市浦小学校給食室・食堂		257.08	1990	200.0	
12	五所川原第一中学校校舎	松島町三丁目	8,056.83	2007	48.9	
	五所川原第一中学校体育館		2,562.92	2010	42.6	

No	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	老朽化率 (%)	備考
13	五所川原第二中学校校舎 (北棟)	羽野木沢字隈無	2,061.39	1995	74.5	
	五所川原第二中学校校舎 (南棟)		1,200.22	1978	236.4	
	五所川原第二中学校体育館		639.09	1978	152.9	
	五所川原第二中学校倉庫		60.00	1995	233.3	
	五所川原第二中学校焼却炉室		20.00	1995	102.9	
14	五所川原第三中学校校舎 (特別教室棟)	広田字藤浦	794.68	1972	123.4	
	五所川原第三中学校校舎 (特別教室棟以外)		3,918.83	1987	91.5	
	五所川原第三中学校体育館		1,613.87	1989	87.2	
	五所川原第三中学校プール付属室		16.00	1974	164.7	
	五所川原第三中学校物置小屋		39.00	1990	266.7	
15	五所川原第四中学校校舎	沖飯詰字男鹿	3,572.67	1983	100.0	
	五所川原第四中学校体育館		1,491.06	1983	138.2	
	五所川原第四中学校プール付属室		15.00	1984	209.1	
	五所川原第四中学校物置小屋		33.00	1985	95.7	
16	金木中学校校舎	金木町芦野	4,277.62	1986	93.6	
	金木中学校体育館		1,449.15	1986	129.4	
	金木中学校柔剣道場		350.05	1988	190.9	
	金木中学校物置小屋		112.00	1986	200.0	
17	市浦中学校校舎	相内岩井	2,809.66	1970	127.7	
	市浦中学校体育館		924.10	1971	125.5	
	市浦中学校給食室		90.36	1990	200.0	
18	学校給食センター	金山字竹崎	4,306.00	2016	45.2	
19	高等看護学院	新町	2,554.25	1991	78.0	
合計			104,389.71			

※老朽化率は、経過年数を耐用年数で割った値 (2030年3月31日時点)

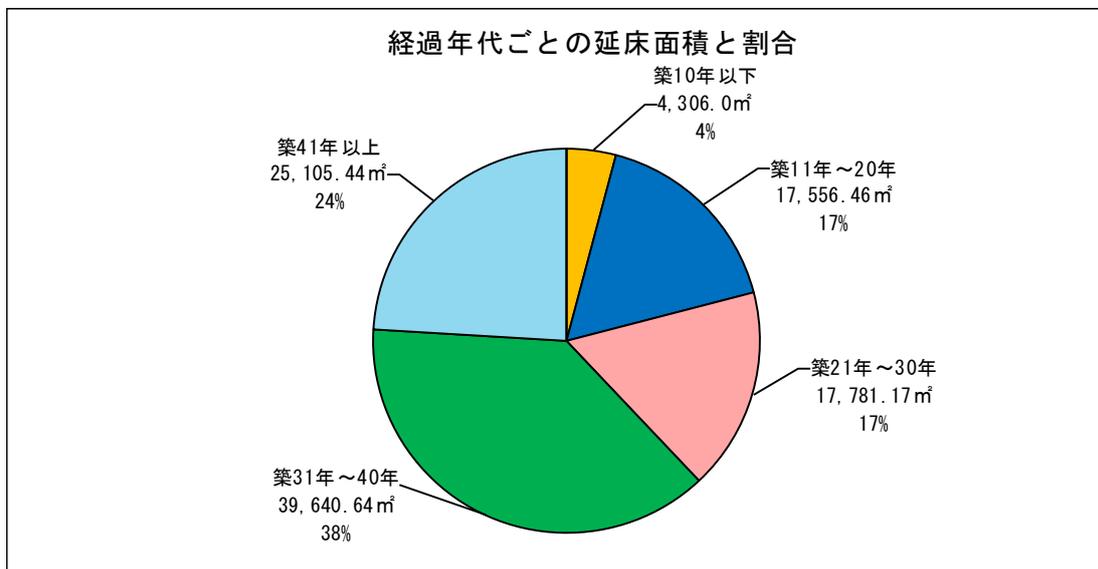
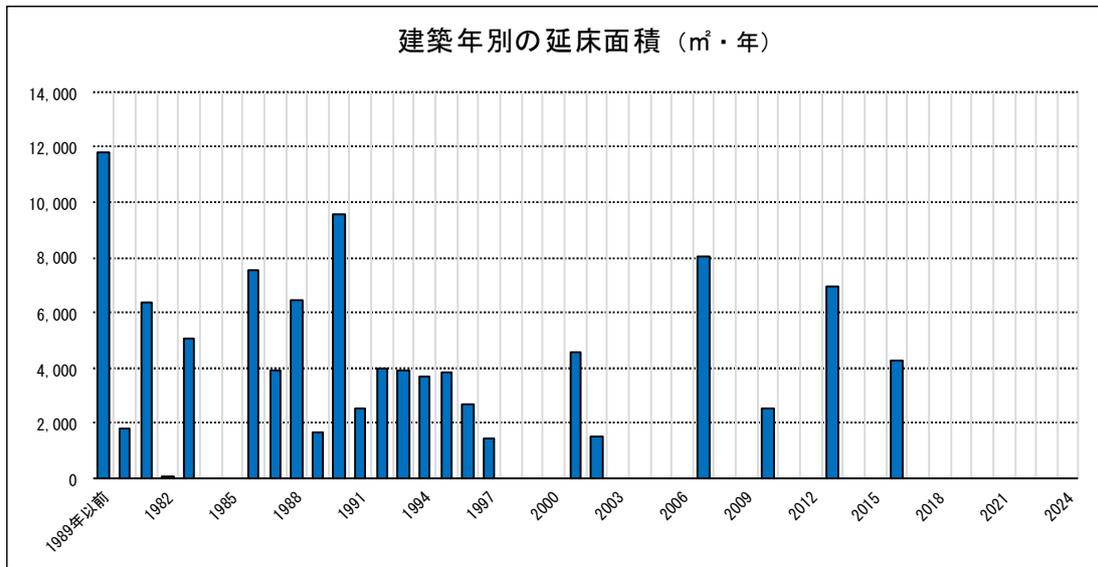
## 5 学校教育系施設の現状

本市の学校教育系施設は19施設です。五所川原地域に15施設、金木地域に2施設、市浦地域に2施設が配置されています。多くが1979年(昭和54年)から1997年(平成9年)にかけて建築されました。総延床面積は104,389.71㎡で建築後の経過年数別で見ると、2024年(令和6年4月1日)を起点とした場合、築40年以上が25,105.44㎡(24.1%)、築30年から40年が39,640.64㎡(38.0%)、築20年から30年が17,781.17㎡(17.0%)、築10年から20年が17,556.46㎡(16.8%)、築10年未満が4,306.00㎡(4.1%)となっています。

これまでの施設の整備は、公立小学校・中学校(以下「小中学校」といいます。)を例に説明すると、築20年から30年を目途に事後保全改修を、築40年を目途に更新を実施してきました。

前述のとおり築20年以上経過する施設が79.1%と高い割合を占めており、多くの施設が大規模な改修や更新の時期を迎えています。

このような現状からも、今後、財政状況がより一層の厳しさを増すことが予測されるなか、これまでのような更新中心の整備を継続することは非常に困難です。



## 6 これまでの整備状況

最近の主な整備・改修状況は以下のとおりです。(総事業費が 10,000 千円以上の主な事業)

事業名	中央小学校建設事業
事業年度	2010 年度 (H22 年度) から 2014 年度 (H26 年度)
事業内容	旧中央小学校の耐震基準が基準以下のため旧校舎を除却の上新設 (現地建替え)
総事業費	2,307,537 千円 (財源: 国庫 854,030 千円、地方債 1,230,400 千円、一般財源 223,107 千円)

事業名	金木中学校大規模改造事業
事業年度	2013 年度 (H25 年度) から 2014 年度 (H26 年度)
事業内容	老朽化した校舎、屋内運動場等について、事後保全改修を実施
総事業費	201,098 千円 (財源: 国庫 59,832 千円、地方債 138,400 千円、一般財源 2,866 千円)

事業名	学校給食センター建設事業
事業年度	2013年度（H25年度）から2016年度（H28年度）
事業内容	旧学校給食センター建設から44年を経過して経年劣化が著しいため「学校給食衛生管理基準」に基づき新学校給食センターを整備（非現地建替え）
総事業費	3,196,568千円 （財源：国庫214,649千円、地方債2,831,800千円、一般財源150,119千円）

事業名	栄小学校大規模改造事業
事業年度	2014年度（H26年度）から2016年度（H28年度）
事業内容	老朽化した校舎、屋内運動場について、屋根、外壁、機械設備、電気設備等の事後保全改修を実施
総事業費	281,495千円 （財源：国庫87,891千円、地方債189,900千円、一般財源3,704千円）

事業名	金木小学校大規模改造事業
事業年度	2020年度（R2年度）から2022年度（R4年度）
事業内容	老朽化した校舎、屋内運動場について、屋根、外壁、機械設備、電気設備等の事後保全改修及びトイレ改修工事を実施
総事業費	382,146千円 （財源：国庫115,302千円、地方債258,900千円、一般財源7,944千円）

事業名	三輪小学校屋根防水・体育館横樋等改修工事、三輪小学校トイレ改修工事
事業年度	2023年度（R5年度）
事業内容	校舎、食堂、地域学校連携室及び体育館の屋上防水、横樋等の事後保全改修工事並びにトイレ洋式化に伴う建築、電気設備の改修工事を実施
総事業費	100,329千円 （財源：国庫6,855千円、地方債93,400千円、一般財源74千円）

## 7 今後の整備方針

（社）日本建築学会発行（昭和63年）「建築物の耐久計画に関する考え方」による目標耐用年数を引用すると、鉄筋コンクリート造（RC造）、鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）、鉄骨造（S造）の建物は計画的な保全を実施すれば、RC造、SRC造は約80年、S造は約50年、長持ちさせることができるとされております。

このことから、今後は築20年から30年を目途に予防保全改修を、築40年を目途にコンクリート中性化対策、鉄筋の腐食対策等建物機能を向上させる長寿命化改修を実施することで施設の長寿命化を図り、その後、建築後約80年で更新を実施する手法に転換します。

また、大規模改修時には児童生徒の学習環境も考慮し、電気・空調設備や防災機能の向上、省エネルギー化にも努めていきます。

長寿命化改修以外にも、法定検査等による施設躯体や各種設備の状況把握に努める、必要に応じて一部改修を実施するほか、照明設備のLED化について計画的に取り組むとともに、学校のバリアフリー化、避難所となる学校体育館の空調整備、分類の違う目的の施設との複合化なども検討していきます。

①施設の基本的な方針

No	施設名称	方向性	管理方法	特記事項
1	五所川原小学校	存続	直営	
2	南小学校	存続	直営	再編検討校
3	栄小学校	存続	直営	
4	松島小学校	存続	直営	再編検討校
5	中央小学校	存続	直営	
6	三輪小学校	存続	直営	再編検討校
7	三好小学校	除却	直営	教育財産から普通財産へ
8	東峰小学校	存続	直営	再編検討校
9	いずみ小学校	存続	直営	再編検討校
10	金木小学校	存続	直営	
11	市浦小学校	存続	直営	
12	五所川原第一中学校	存続	直営	
13	五所川原第二中学校	存続	直営	再編検討校
14	五所川原第三中学校	存続	直営	
15	五所川原第四中学校	存続	直営	再編検討校
16	金木中学校	存続	直営	
17	市浦中学校	除却	直営	教育財産から普通財産へ
18	学校給食センター	存続	直営	
19	高等看護学院	除却	直営	募集停止年度から3年後、若しくは機能代替施設が見つかった時点で廃止します。

※方向性の説明

方向性	説明
存続	現状のまま維持する。(各種改修・統合・複合化・更新などを行う。)
転用	施設機能を廃止し、他の用途へ転用する。
民間移譲	民間事業者等へ譲渡等を行う。
除却	施設を解体撤去する。(解体時期検討中を含む。)

※管理方法の説明

管理方法	説明
直営	市の直営(個別の業務ごとに私法上の契約で委託する方式を含む。)
指定管理	指定管理者による管理運営方式
包括的民間委託	複数の業務や施設を包括的に委託する方式
PFIなど	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方式

②改修等の今後のスケジュール

No	施設名称	第Ⅰ期					第Ⅱ期				
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
1	五所川原小学校	改修			改修						
2	南小学校	改修		改修							
3	栄小学校	改修									
4	松島小学校	改修		改修							
5	中央小学校	改修									

No	施設名称	第Ⅰ期					第Ⅱ期				
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
6	三輪小学校	改修		改修	改修						
7	三好小学校	改修									
8	東峰小学校	改修		改修							
9	いずみ小学校	改修									
10	金木小学校		改修		改修						
11	市浦小学校	改修			改修	改修					
12	五所川原第一中学校	改修									
13	五所川原第二中学校	改修									
14	五所川原第三中学校	改修									
15	五所川原第四中学校	改修									
16	金木中学校	改修									
17	市浦中学校	改修									

No	施設名称	第Ⅲ期 (2030～2034)	第Ⅳ期 (2035～2039)	第Ⅴ期 (2040～2044)
1	五所川原小学校	改修		
2	南小学校		改修	
3	栄小学校		改修	
5	中央小学校			改修
6	三輪小学校			改修
10	金木小学校			改修
12	五所川原第一中学校		改修	
14	五所川原第三中学校	建替		

※改修等の説明

改修等	説明
改修	建物や設備の改修
建替	老朽化等のため建物を建替（非現地建替えを含む。）
解体	施設を解体

③改修等の事業費及び財源

No	施設名称	事業年度(年度)	事業費(千円)	事業費内訳(千円)	財源(千円)
1	五所川原小学校	2020	18,604	○トイレ改修 設計監理(3,214) 改修工事(14,515)	国庫(3,626) 地方債(14,000) 一般財源(103)
				○遊具修繕(649) ○電気工作物修繕(226)	一般財源(875)
		2020～2021	44,943	○空調設備設置 実施設計(1,037) 工事監理(561) 空調設備工事(43,345)	国庫(44,856) 一般財源(87)
		2023	404	○遊具修繕(404)	一般財源(404)

No	施設名称	事業年度	事業費 (千円)	事業費内訳 (千円)	財源 (千円)
1	五所川原小学校	第Ⅲ期	1,513,491	○改修 (1,509,384) ○プール付属室及び物置小屋は解体 (4,107)	国庫 (503,127) 地方債 (1,006,200) 一般財源 (4,164)
2	南小学校	2020	872	○遊具修繕 (649) ○電気工作物修繕 (223)	一般財源 (872)
		2020～2021	55,051	○空調設備設置 実施設計 (1,273) 工事監理 (688) 空調設備工事 (53,090)	国庫 (54,944) 一般財源 (107)
		2022	31,602	○トイレ改修 設計監理 (3,112) 改修工事 (28,490)	国庫 (9,525) 地方債 (22,000) 一般財源 (77)
		第Ⅳ期	1,260,631	○改修 (1,258,263) ○プール付属室は解体 (2,368)	国庫 (419,420) 地方債 (838,800) 一般財源 (2,411)
3	栄小学校	2020	2,145	電気工作物 (2,145)	一般財源 (2,145)
		2020～2021	47,160	○空調設備設置 実施設計 (1,365) 工事監理 (639) 空調設備工事 (45,156)	国庫 (47,160)
		2021	38,895	○トイレ改修 設計監理 (3,581) 改修工事 (35,314)	国庫 (4,891) 地方債 (33,700) 一般財源 (304)
		第Ⅲ～Ⅳ期	1,594,258	○改修 (1,590,188) ○プール付属室及び物置小屋は解体 (4,070)	国庫 (530,062) 地方債 (1,060,000) 一般財源 (4,196)
4	松島小学校	2020	782	○電気工作物修繕 (782)	一般財源 (782)
		2020～2021	32,269	○空調設備設置 実施設計 (818) 工事監理 (403) 空調設備工事 (31,048)	国庫 (32,268) 一般財源 (1)
		2021	6,084	○トイレ改修 設計監理 (559) トイレ改修 (5,525)	国庫 (763) 地方債 (5,100) 一般財源 (221)
			970	○遊具修繕 (970)	一般財源 (970)
		2022	30,120	○屋上改修事業 実施設計 (495) 工事監理 (495) 改修工事 (29,130)	地方債 (30,100) 一般財源 (20)
5	中央小学校	2020～2021	47,919	○空調設備設置 実施設計 (1,217) 工事監理 (599) 空調設備工事 (46,103)	国庫 (47,919)

No	施設名称	事業年度(年度)	事業費(千円)	事業費内訳(千円)	財源(千円)
5	中央小学校	第Ⅴ期	1,373,469	○改修(1,373,469)	国庫(457,822) 地方債(915,600) 一般財源(47)
6	三輪小学校	2020~2021	34,533	○空調設備設置 実施設計(1,000) 工事監理(469) 空調設備工事(33,064)	国庫(34,533)
		2022	226	○遊具修繕(226)	一般財源(226)
		2023	100,329	○トイレ改修 設計監理(3,067) トイレ改修(25,542)	国庫(6,855) 地方債(21,700) 一般財源(54)
				○屋上防水改修 設計監理(2,288) 改修工事(69,432)	地方債(71,700) 一般財源(20)
		第Ⅴ期	1,212,056	○改修(1,212,056)	国庫(404,018) 地方債(808,000) 一般財源(38)
7	三好小学校	2020~2021	18,396	○空調設備設置 実施設計(816) 工事監理(220) 空調設備工事(17,360)	国庫(18,396)
		2021	356	○遊具修繕(356)	一般財源(356)
8	東峰小学校	2020~2021	23,217	○空調設備設置 実施設計(1,029) 工事監理(278) 空調設備工事(21,910)	国庫(23,217)
		2022	13,872	○トイレ改修 設計監理(1,365) 改修工事(12,507)	国庫(4,179) 地方債(9,600) 一般財源(93)
9	いずみ小学校	2020	5,724	○トイレ改修 設計監理(1,037) 改修工事(4,687)	国庫(1,170) 地方債(4,400) 一般財源(154)
				504	○遊具修繕(504)
		2020~2021	29,081	○空調設備設置 実施設計(1,290) 工事監理(348) 空調設備工事(27,443)	国庫(29,081)
10	金木小学校	2020~2021	43,037	○空調設備設置 実施設計(1,585) 工事監理(647) 空調設備工事(40,805)	国庫(34,868) 一般財源(8,169)

No	施設名称	事業年度(年度)	事業費(千円)	事業費内訳(千円)	財源(千円)
10	金木小学校	2020～2022	382,146	○大規模改修 実施設計(5,720) 工事監理(7,898) 設計意図伝達(216) 大規模改修(366,200) 調査業務委託(2,112)	国庫(115,302) 地方債(258,900) 一般財源(7,944)
		2023	987	○遊具更新(987)	一般財源(987)
		第Ⅴ期	1,412,472	○改修(1,409,660) ○倉庫は解体(2,812)	国庫(469,886) 地方債(939,700) 一般財源(2,886)
11	市浦小学校	2020	939	○電気工作物修繕(939)	一般財源(939)
		2020～2021	18,172	○空調設備設置 実施設計(670) 工事監理(273) 空調設備工事(17,229)	国庫(14,723) 一般財源(3,449)
		2023	187	○遊具撤去(187)	一般財源(187)
		2024～2025	334,366	○大規模改修 実施設計(5,555) アスベスト調査(924) 工事監理(8,096) 大規模改修(319,791)	国庫(70,727) 地方債(263,500) 一般財源(139)
12	五所川原第一中学校	2020～2021	58,288	○空調設備設置 実施設計(1,581) 工事監理(1,396) 空調設備工事(55,311)	国庫(58,288)
		第Ⅳ期	2,102,711	○改修(2,102,711)	国庫(700,903) 地方債(1,401,800) 一般財源(8)
13	五所川原第二中学校	2020	748	○電気工作物修繕(748)	一般財源(748)
		2020～2021	14,717	○空調設備設置 実施設計(558) 工事監理(233) 空調設備工事(13,926)	国庫(14,717)
14	五所川原第三中学校	2020	910	○電気工作物修繕(910)	一般財源(910)
		2020～2021	41,843	○空調設備設置 実施設計(1,588) 工事監理(664) 空調設備工事(39,591)	国庫(41,843)
		第Ⅲ期	2,090,071	○校舎及び体育館の建替(2,088,036) ○プール付属室及び物置小屋は解体(2,035)	国庫(696,011) 地方債(1,392,000) 一般財源(2,060)

No	施設名称	事業年度(年度)	事業費(千円)	事業費内訳(千円)	財源(千円)
15	五所川原第四中学校	2020	827	○電気工作物修繕(827)	一般財源(827)
		2020～2021	16,765	○空調設備設置 実施設計(454) 工事監理(401) 空調設備工事(15,910)	国庫(16,765)
16	金木中学校	2020	880	○電気工作物修繕(880)	一般財源(880)
		2020～2021	33,655	○空調設備設置 実施設計(1,428) 工事監理(561) 空調設備工事(31,666)	国庫(33,655)
17	市浦中学校	2020	389	○電気工作物修繕(389)	一般財源(389)
		2020～2021	16,862	○空調設備設置 実施設計(716) 工事監理(281) 空調設備工事(15,865)	国庫(16,862)

※事業費等は、調査・設計の結果を受けて変動する場合があります。

#### ④今後の施設の総面積とコスト推計

総延床面積 (㎡)				
現在	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
104,389.71	96,830.64	96,664.64	87,398.21	79,430.00
維持管理コスト(千円)				
現在	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
536,432	524,274	537,247	497,684	438,473

## 8 フォローアップの実施

本計画を着実に推進していくため、PDCAサイクル(Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善))に基づき、計画の評価・見直しを行いながら実施していきます。

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原小学校	総延床面積 (㎡)	7,734.16
所在地	五所川原市大字新宮字岡田 161 番地	代表建築年 (年)	1988
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	10	8	4	58
体育館	20	8	8	8	2	46
プール付属室	20	8	6	4	2	40
物置小屋	20	8	8	4	2	42

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
359	304	275	287	287	233	220	211	227

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
16,573	10,093	9,942	10,814	12,951	13,748	14,450	15,187	15,961

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
0	7	7	7	7	7	7	7	7

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>和式トイレの洋式化、空調設備の整備、危険な遊具の修繕、自家用電気工作物の修繕を実施済みです。</p> <p>電気設備等の一部改修のほか、屋根、外壁、設備等の劣化状況を見据えた長寿命化改修が必要になっています。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく存続校として長寿命化改修を実施し、学校施設として維持・保全していきます。</p>				

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	南小学校	総延床面積 (㎡)	6,746.97
所在地	五所川原市字蓮沼2番地	代表建築年 (年)	1990
構成施設	校舎、体育館、プール付属室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	10	8	6	60
体育館	20	8	8	8	2	46
プール付属室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度5月1日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
268	213	209	198	190	149	128	112	96

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
14,098	6,425	6,299	7,634	8,766	9,305	9,780	10,279	10,803

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
15	15	15	15	15	15	15	15	15

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項	※再編検討校
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>和式トイレの洋式化、空調設備の整備、危険な遊具の修繕、自家用電気工作物の修繕を実施済みです。</p> <p>築30年以上が経過し、外壁、設備等の経年劣化により一部改修が必要になっています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく再編検討校として、中期的には修繕等の対処により施設を維持しますが、長期的 (計画期間内) には児童数の状況及び施設の老朽化程度を考慮し、周辺の存続校への学校再編を行います。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	栄小学校	総延床面積 (㎡)	8,141.25
所在地	五所川原市大字姥菟字船橋 156 番地 2	代表建築年 (年)	1981
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	8	10	16	6	60
体育館	20	8	10	16	2	56
プール付属室	4	8	8	4	2	26
物置小屋	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
428	397	384	374	365	277	238	208	178

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
21,900	9,532	8,676	12,044	14,638	15,538	16,331	17,164	18,040

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
3	6	6	6	6	6	6	6	6

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>和式トイレの洋式化、空調設備の整備、自家用電気工作物の修繕を実施済みです。</p> <p>2015 年度、2016 年度に校舎及び体育館の大規模な改修を実施しましたが、設備等未実施部分の一部改修が必要になっています。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく存続校として長寿命化改修を実施し、学校施設として維持・保全していきます。</p>				

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	松島小学校	総延床面積 (㎡)	4,111.79
所在地	五所川原市大字米田字八ツ橋8番地	代表建築年 (年)	1996
構成施設	校舎、体育館、プール付属室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	16	2	72
体育館	20	16	8	4	4	52
プール付属室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度5月1日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
136	105	93	99	98	79	68	60	51

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
10,500	4,087	4,707	5,553	4,194	4,452	4,679	4,918	5,169

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
16	19	19	19	19	19	19	19	19

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項	※本計画第V期再編検討
<p><b>【施設の状況及び課題】</b></p> <p>和式トイレの洋式化、空調設備の整備、自家用電気工作物の修繕及び屋上改修を実施済みです。築30年近くが経過し、改修未実施部分の屋根、外壁等の経年劣化により一部改修が必要になっています。</p>					
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b></p> <p>「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく再編検討校ではあるものの、近年、住宅立地等の開発行為により学区内人口の増加も見込まれるところであり、修繕等の対処により施設を維持しつつ、中期的には児童数の状況及び施設の老朽化程度を考慮し、周辺の存続校への学校再編を行います。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	中央小学校	総延床面積 (㎡)	6,937.02
所在地	五所川原市松島町二丁目 94 番地	代表建築年 (年)	2013
構成施設	校舎、体育館		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	32	10	20	10	92
体育館	20	32	10	20	6	88

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
344	326	367	382	385	302	259	227	226

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
16,226	7,024	8,272	12,777	8,972	9,524	10,010	10,520	11,057

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
15	13	13	13	13	13	13	13	13

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p><b>【施設の状況及び課題】</b>            空調設備の整備は実施済みです。            建築年次は比較的新しいものの、雨漏り、漏水箇所の発生や外壁ひび割れ、コーキング劣化も見受けられることから、必要に応じて一部改修を実施していきます。</p>				
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b>            「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく存続校として施設の予防保全を行っていくほか、計画期間内では長寿命化改修を実施します。</p>				

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	三輪小学校	総延床面積 (㎡)	6,111.55
所在地	五所川原市大字七ツ館字虫流6番地5	代表建築年 (年)	2001
構成施設	校舎、体育館、地域学校連携施設、食堂		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	16	8	78
体育館	20	24	10	16	2	72
地域学校連携施設	20	8	8	16	4	56
食堂	20	8	6	16	2	52

(2) 供給面 (児童数: 各年度5月1日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
223	211	218	212	208	157	135	118	140

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
15,560	14,413	15,155	17,621	15,212	16,148	16,972	17,837	18,747

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項	※再編検討校
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>和式トイレの洋式化、空調設備の整備、危険な遊具の修繕及び屋上改修を実施済みです。</p> <p>建築年次は比較的新しく、学校生活において大きな支障がない状態であるものの、未改修である体育館の屋根等の予防保全改修を実施すべき時期になっています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく再編検討校として、中期的には修繕等の対処により施設を維持しますが、長期的 (計画期間内) には児童数の状況及び施設の老朽化程度を考慮し、周辺の存続校への学校再編を行います。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	三好小学校	総延床面積 (㎡)	3,703.05
所在地	五所川原市大字鶴ヶ岡字唐橋 25 番地 2	代表建築年 (年)	1992
構成施設	校舎、体育館、プール付属室・機械室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	8	6	4	6	44
体育館	20	16	8	4	4	52
プール付属室・機械室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
56	40	34	33	36	0	0	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
7,700	9,603	11,043	11,979	10,918	0	0	0	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
0	14	14	19	28	0	0	0	0

## 3 基本的な方針

方向性	除却	管理方法	直営	特記事項	令和 7 年 3 月で閉校
<b>【施設の状況及び課題】</b> 空調設備の整備、危険な遊具の修繕を実施済みです。 築 30 年以上が経過し、外壁等の経年劣化により一部改修が必要になっています。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 2025 年 3 月に三好小学校を閉校し、同年 4 月に同校を五所川原小学校へ統合します。 閉校後の校舎等施設は、未利用施設として普通財産へ所管替します。					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	東峰小学校	総延床面積 (㎡)	4,008.34
所在地	五所川原市大字神山字山越1番地26	代表建築年 (年)	1993
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	10	16	8	70
体育館	20	8	8	16	6	58
プール付属室	20	8	6	16	2	52
物置小屋	20	8	8	4	2	42

(2) 供給面 (児童数: 各年度5月1日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
137	114	100	94	87	61	52	46	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
11,188	30,744	29,252	29,490	22,743	24,142	25,373	26,668	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項	※本計画第IV期再編検討
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>和式トイレの洋式化及び空調設備の整備を実施済みです。</p> <p>築30年以上が経過し、屋根、外壁等の経年劣化により一部改修が必要になっています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく再編検討校として、当面は修繕等の対処により施設を維持しますが、中期的には児童数の状況及び施設の老朽化程度を考慮し、周辺の存続校への学校再編を行います。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	いずみ小学校	総延床面積 (㎡)	3,965.03
所在地	五所川原市大字飯詰字石田 184 番地	代表建築年 (年)	1994
構成施設	校舎、体育館、食堂		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	10	4	4	54
体育館	20	24	10	4	2	60
食堂	20	24	10	4	2	60

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
154	132	130	131	128	100	86	75	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
9,732	30,364	31,769	32,244	34,893	37,039	38,929	40,914	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
18	17	25	40	64	64	64	64	18

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項	※本計画第IV期再編検討
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>和式トイレの洋式化、空調設備の整備及び危険な遊具の修繕を実施済みです。 築 30 年が経過し、屋根、外壁等の経年劣化により一部改修が必要になっています。</p> <p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく再編検討校として、当面は修繕等の対処により施設を維持しますが、中期的には児童数の状況及び施設の老朽化程度を考慮し、周辺の存続校への学校再編を行います。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	金木小学校	総延床面積 (㎡)	7,196.51
所在地	五所川原市金木町芦野 84 番地 54	代表建築年 (年)	1979
構成施設	校舎、体育館、第二体育館、給食室、倉庫		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	16	8	10	16	6	56
体育館	16	8	10	16	8	58
第二体育館	16	8	10	16	2	52
給食室	16	8	10	16	2	52
倉庫	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
309	245	224	222	205	137	118	103	88

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
17,443	31,157	31,292	35,163	28,311	30,053	31,586	33,197	34,890

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
46	43	43	46	46	46	46	46	46

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>屋根、外壁、内壁、内部床等の改修のほか、給排水、暖房等の設備、和式トイレの洋式化について大規模な改修を実施済みです。</p> <p>また、空調設備の整備、危険な遊具の撤去・更新についても実施済みです。</p> <p>2020 年度から 2022 年度にかけて校舎及び体育館の大規模な改修工事を実施したため、学校生活において大きな支障はない状態です。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>今後の児童数及び学級数の減少は見込まれるものの、金木地区で唯一の小学校であることから「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」において学校再編の対象外校とし、また、近年大規模改修を実施済であることから、予防保全を中心とした施設維持を行っていきます。</p>				

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	市浦小学校	総延床面積 (㎡)	3,058.87
所在地	五所川原市相内岩井 85 番地	代表建築年 (年)	1990
構成施設	校舎、体育館、給食室・食堂		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	6	16	6	64
体育館	20	8	6	16	4	54
給食室・食堂	20	8	6	16	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
89	59	52	46	48	51	42	37	32

備考: 2029 年度以降は、併置校舎としての児童生徒数を記載している。

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
10,802	14,688	15,722	18,219	15,284	16,224	17,052	17,921	18,836

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>空調設備の整備、危険な遊具の撤去及び自家用電気工作物の修繕を実施済みです。</p> <p>屋根、外壁、設備等の経年劣化により改修が必要になっていることから、市浦小学校、市浦中学校の併置校の校舎として使用する場合には、長寿命化を見据えた屋根、外壁等の予防保全のための長寿命化改修のほか、トイレ改修等の大規模な改修が必要となっています。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>児童数の減少に伴い学校再編検討校となりますが、市浦地区で唯一の小学校であることから、中学校との併置校とすることとし、小学校校舎を併置校舎として使用するため長寿命化改修等を実施し、2026 年 4 月に併置校を開校します。</p>				

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第一中学校	総延床面積 (㎡)	10,619.75
所在地	五所川原市松島町三丁目1番地	代表建築年 (年)	2007
構成施設	校舎、体育館		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	32	10	8	10	80
体育館	20	32	8	20	6	86

(2) 供給面 (生徒数: 各年度5月1日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
752	536	535	514	526	437	335	318	278

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
32,493	26,016	30,687	39,503	34,233	36,339	38,193	40,141	42,188

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2029年度	2034年度	2039年度	2044年度
31	58	58	83	83	83	83	83	83

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p><b>【施設の状況及び課題】</b>            空調設備の整備は実施済みです。            設備等の経年劣化により、一部改修を実施すべき時期になっています。</p>				
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b>            「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく存続校として予防保全を中心とした施設維持を行っていくほか、本計画第Ⅲ期中を目途に長寿命化改修を実施し、学校施設として維持・保全していきます。</p>				

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第二中学校	総延床面積 (㎡)	3,982.70
所在地	五所川原市大字羽野木沢字隈無 179 番地 2	代表建築年 (年)	1995
構成施設	校舎 (北棟)、校舎 (南棟)、体育館、倉庫、焼却炉室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎 (北棟)	20	24	10	4	4	62
校舎 (南棟)	4	8	6	4	4	26
体育館	16	8	6	4	4	38
倉庫	20	8	6	4	2	40
焼却炉室	20	8	10	4	2	44

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
86	57	57	61	55	47	36	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
11,629	22,007	22,543	24,151	24,522	26,031	27,358	0	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
12	12	12	6	6	6	6	6	6

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項	※本計画第Ⅲ期再編検討
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>空調設備の整備及び自家用電気工作物の修繕を実施済みです。</p> <p>築 30 年近くが経過し、屋根、外壁、設備等の経年劣化により一部改修が必要になっています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく再編検討校として、当面は修繕等の対応により施設を維持しますが、中期的には生徒数の状況及び施設の老朽化程度を考慮し、周辺の存続校への学校再編を行います。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第三中学校	総延床面積 (㎡)	6,436.10
所在地	五所川原市大字広田字藤浦 105 番地 1	代表建築年 (年)	1987
構成施設	校舎 (特別教室棟)、校舎 (特別教室棟以外)、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎 (特別教室棟)	16	8	10	16	4	54
校舎 (特別教室棟以外)	20	16	10	16	4	66
体育館	20	16	10	16	2	64
プール付属室	16	8	8	4	2	38
物置小屋	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
420	306	286	278	281	238	183	185	161

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
19,537	7,075	8,201	12,342	10,327	10,962	11,521	12,109	12,726

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
6	9	26	62	133	133	133	133	133

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>空調設備の整備及び自家用電気工作物の修繕を実施済みです。</p> <p>電気設備等の一部改修のほか、屋根、外壁、設備等の劣化状況を見据えた長寿命化改修の検討が必要になっています。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく存続校となるものの、施設が老朽化していることから、長寿命化改修を実施し、学校施設として維持・保全していきます。</p>				

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第四中学校	総延床面積 (㎡)	5,111.74
所在地	五所川原市大字沖飯詰字男鹿 274 番地 1	代表建築年 (年)	1983
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	8	10	16	4	58
体育館	20	8	8	16	2	54
プール付属室	20	8	6	4	2	40
物置小屋	20	16	8	4	2	50

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
103	64	59	63	60	43	33	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
16,943	16,678	16,589	17,473	20,931	22,219	23,352	0	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
10	10	28	50	78	78	78	10	10

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項	※本計画第Ⅲ期再編検討
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>空調設備の整備及び自家用電気工作物の修繕を実施済みです。</p> <p>2012 年度に校舎及び体育館の大規模な改修を実施しましたが、設備等未実施部分の一部改修が必要になっています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」に基づく再編検討校として、当面は修繕等の対処により施設を維持しますが、中期的には生徒数の状況及び施設の老朽化程度を考慮し、周辺の存続校への学校再編を行います。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	金木中学校	総延床面積 (㎡)	6,242.36
所在地	五所川原市金木町芦野 84 番地 9	代表建築年 (年)	1986
構成施設	校舎、体育館、柔剣道場、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	10	16	4	66
体育館	20	8	8	16	2	54
柔剣道場	20	8	6	16	2	52
物置小屋	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
224	132	139	125	127	95	73	63	55

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
15,993	20,329	20,496	22,043	20,518	21,780	22,891	24,059	25,286

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
31	31	31	16	21	21	21	21	21

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>空調設備の整備及び自家用電気工作物の修繕を実施済みです。</p> <p>2014 年度に校舎及び体育館の大規模な改修を実施しましたが、鳥害により屋根等の一部改修が必要になっています。</p>				
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>今後の児童数及び学級数の減少は見込まれるものの、金木地区で唯一の中学校であることから「五所川原市立小学校中学校 適正規模・適正配置基本計画」において学校再編の対象外校とします。</p>				

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	市浦中学校	総延床面積 (㎡)	3,824.16
所在地	五所川原市相内岩井 81 番地	代表建築年 (年)	1970
構成施設	校舎、体育館、給食室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	16	8	8	16	4	52
体育館	16	8	10	16	2	52
給食室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
47	35	37	33	29	0	0	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
10,665	13,160	12,123	13,259	15,240	0	0	0	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 3 基本的な方針

方向性	除却	管理方法	直営	特記事項	令和 8 年 3 月で利用廃止
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>空調設備の整備及び自家用電気工作物の修繕を実施済みです。</p> <p>2011 年度、2012 年度に校舎及び体育館の大規模な改修を実施しましたが、内装等未実施部分の一部改修が必要となっています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>児童数の減少に伴い学校再編検討校となりますが、市浦地区で唯一の中学校であることから、小学校との併置校とすることとし、小学校校舎を併置校舎として 2026 年 4 月に併置校を開校することから、2026 年 3 月をもって学校施設としての利用を廃止し、閉校後の校舎等施設は、未利用施設として普通財産へ所管替します。</p>					

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	学校給食センター	総延床面積 (㎡)	4,306.00
所在地	五所川原市大字金山字竹崎 203 番地 1	代表建築年 (年)	2016
構成施設	調理室・事務室・会議室・休憩室・対応食調理室		
施設の目的	成長期にある児童生徒に、安心安全で栄養バランスのとれた食事を提供する。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
調理室・事務室・会議室・休憩室・対応食調理室	20	32	8	20	10	90

(2) 供給面 (1 日あたりの給食提供数) (単位: 食)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
3,783	3,520	3,460	3,420	3,380	2,690	2,300	2,060	1,840

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
74,684	127,249	210,627	218,674	216,780	212,000	210,000	208,000	206,000

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
83	53	35	41	64	55	55	55	55

## 3 基本的な方針

方向性	存続	管理方法	直営	特記事項
<p><b>【施設の状況及び課題】</b>            建築物は、経年劣化や耐用年数の経過を要因とした部品交換を要する事案が多くなってきていますが、いずれも軽微な補修により学校給食を計画どおり提供できていることから、今後も、現状に沿った適切な補修を継続していくことが必要となっています。</p>				
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b>            安心安全な学校給食を提供するため、関係法令等を遵守し、施設の維持管理に努める必要があります。</p>				

## 1 施設の概要及び目的

施設名称	高等看護学院	総延床面積 (㎡)	2,554.25
所在地	五所川原市字新町 58 番地 2	代表建築年 (年)	1991
構成施設	高等看護学院		
施設の目的	保健師助産師看護師法第 21 条第 2 項に規定する看護師養成所として、必要な基礎的知識及び技術を習得させ、社会に貢献する人材を養成する。		

## 2 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
高等看護学院	20	16	10	4	6	56

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 4 月 1 日現在) (単位: 人)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
99	56	53	47	52	52	52	52	52

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
14,855	17,182	16,563	18,219	16,999	18,770	18,770	18,770	18,770

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

実績					将来推計			
2015 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2029 年度	2034 年度	2039 年度	2044 年度
10,299	6,143	5,635	4,895	5,775	6,011	6,011	6,011	6,011

## 3 基本的な方針

方向性	除却	管理方法	直営	特記事項
<p><b>【施設の状況及び課題】</b></p> <p>西北五圏域においては、唯一の看護学校として重要な位置付けとなっています。</p> <p>耐用年数には至らないものの、築後 30 年以上経過しているため、設備関係 (特に冷暖房・空調) では、部分的に毎年修繕を行っている状況です。いずれは設備の大規模修繕が必要です。</p>				
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b></p> <p>大規模改修は行わず、必要に応じて機能維持のための修繕を実施しながら代替施設及び高等看護学院の今後の運営方針を検討しつつ、当該施設は廃止する方針です。</p> <p>施設廃止の時期については、看護師養成所を継続する場合は代替施設の確保時点、廃止する場合は最後の学院生の卒業年度 (学院生募集停止年度から 3 年後) とします。</p>				

【建物性能表】

評価基準に重みを掛けたものを建物性能とします。

評価基準		重み
①耐震性能	5点：新耐震基準（建築年が1981年（昭和56年）以降） 4点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.72以上） 3点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.6以上） 2点：旧耐震基準であるが今後耐震改修の計画有り 1点：旧耐震基準（建築年が1981年（昭和56年）前）	×4
②老朽化状況 ※2030年3月31日時点老朽化率により算出	法定耐用年数に対する建築経過年数の割合を以下の区分で評価。 5点：0～25%未満 4点：25～50%未満 3点：50～75%未満 2点：75～100%未満 1点：100%以上	×8
③主体構造	5点：主体構造が鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、プレキャストコンクリート等 4点：主体構造が鉄骨造、軽量鉄骨造など 3点：主体構造が木造、コンクリートブロックなど	×2
④大規模改修状況	5点：建築後20年以内の建物（大規模改修が不要） 4点：建物本体の改修を実施 3点：設備の改修を実施 2点：未実施だが、改修計画有り 1点：未実施	×4
⑤福祉性能	エレベーター、多目的トイレ、車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字ブロックの6項目のうち、対応している項目数に応じて評価。 5点：4項目以上対応済 4点：3項目対応済 3点：2項目対応済 2点：1項目対応済 1点：未対応	×2